千葉県中核地域生活支援センターニュースレター　第100号（令和３年１１月発行）

ちばの地域福祉

「中核地域生活支援センター事業を振り返って」

生活クラブ風の村
理事長　池田　徹

まず、最近読んだ本の一節を紹介します。

「市町村、あるいはより小さな地区単位で、きめ細かな支援体制を整備する一方で、より大きな行政単位でも、重層的に支援体制を設けている例として、千葉県独自の取り組みである中核地域生活支援センター事業があります。その趣旨は、子ども、障害者、高齢者など誰もが、ありのままに、その人らしく、地域で暮らすことができる地域社会を実現するために、多様な相談に対して、２４時間３６５日体制で総合的な対応をおこなう地域福祉のセーフティネットとして、県内健康福祉センターの各所管区域（１３の地域）に、中核地域生活支援センターを設置し、高度な専門性を持つ寄り添い支援をおこなうというものです。（菊池馨実「社会保障再考〈地域〉で支える」岩波新書 2019）」

堂本県政の８年間で、さまざまな福祉施策が実現しましたが、そのうち１つを挙げよと言われたら、迷わず、「中核地域生活支援センター」を選びます。中核センターは、生活困窮者自立支援法から重層的支援体制整備事業に至る「地域共生社会」づくりの流れの源流といってもよいかもしれません。

白紙の段階から県民が施策づくりに関わる「健康福祉千葉方式」は、夜７時頃に始まる「作業部会」が大きな特徴でした。そして、２００２年の秋に開かれた最初の作業部会「アクションプラン策定作業部会」の席で、池口紀夫さんが、「分野横断の、２４時間３６５日の相談機関を作るべき」と主張したことを、はっきり覚えています。その時彼が提案した「中核地域生活支援センター」が、そのまま制度名になりました。そして、彼の構想を施策として練り上げ、予算獲得に尽力したのは、当時、健康福祉政策室長だった野村隆司さんです。財政が厳しい千葉県で、３億円を超える新規事業を始めることは、簡単ではありませんでした。さらに、１４ヶ所（当時）の中核センターのすべてを巡回しながら、その質の向上に力を尽くしたのは、ロザリオの聖母会の細渕宗重さんでした。

全国の注目を浴びる中核センターの生みの親であるその３人は、既に鬼籍に入ってしまいました。きっと天国の福祉改革に汗を流していることでしょう。

『ほっとねっと』の地域づくり(松戸圏域)

ほっとねっとが地域づくりの一環として取り組んでいる活動の１つに、松戸市障害者地域包括ケアネットワークがあります。

ネットワークの前身となる松戸市自立支援協議会の地域生活支援部会では、「障害者の医療問題を考える班」において、相談支援専門員に対して行ったインタビュー調査の中で、知的な遅れや精神疾患を理由としたコミュニケーション障害のある方の医療課題が浮き彫りになり、特に知的障害・精神障害を問わず、精神科医療へのアクセスや継続治療に支援者が苦慮していることが明確になりました。

その後、国の施策に合わせた取り組みや、松戸市の相談支援体制の再構築などの関係で、形は変化してきましたが、現在は松戸市障害者地域包括ケアネットワークとして、地域生活支援部会においての課題を引き継ぎ、「本人が苦しんでいるが、周囲からはわかりにくい特徴の理解や、精神障害者の地域生活のヒント」となるように支援者向けのガイドマップの作成を進めてきました。そして、そのガイドマップを通してネットワーク作りも推進できるように準備をしていました。

８月 24 日に発行された『支援者のためのガイドマップ～精神科医療編～』は、そのネットワーク作りの一環であり、ガイドマップの発行を通過点として、今後のガイドマップを活用したネットワーク作りこそが本当の目的とも言えます。内容としては、医療機関の情報に加えて、事例集や用語集なども掲載されており、読み応えのある一冊に仕上がりました。

発行に合わせて、プレお披露目会を実施しました。ネットワークの参加者から関係機関へ声を掛け合い、ガイドマップの趣旨説明や、ガイドマップに掲載されている事例を使ったグループワークを行い、ガイドマップを活用したネットワーク作りの第一弾として開催されたものです。時期的な問題もあり、オンラインでの開催でしたが、今後、ネットワーク作りを進めていく上での大きな一歩となりました。

今後もこのガイドマップを活用したネットワーク作りを進めていく予定です。

『のだネット』の地域づくり(野田圏域)

今年度からスタートした「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」を担っている事業所を紹介します！
これまでも「のだ生活・就労準備支援事業」で連携をしている事業所です。

NPO法人　Earth as Mother 千葉

～全ては、未来の子ども達のために～
安全で安心して食せる真農業の推進と
人と地域にやさしいコミュニティを創造する

〇重層的支援体制整備事業への移行準備事業

野田の南部地域を中心に地域づくりを行っています。

2～3年かけて本事業に移行できればと考えています。

- 地域包括と連携した居場所作り
- 他機関連携（不登校等）
- ペットの多頭飼育問題
- フードバンクと子ども食堂のキーステーション

その他にも…
・梅郷スポーツコミュニティ
・ボードゲームクラブ
・DIY クラブ
・繊細さんカフェ(HSP で生きづらさを感じている方向けの語り場)
・いくるば食堂(高齢者の孤食の方向け)
といった課題に取り組んで行きます

〇のだ生活・就労準備支援事業

日常生活における生活管理能力、コミュニケーション能力、社会適応能力などに問題を抱え、直ちに仕事に就くことが難しい方に対して、一般就労の前段階としての基礎能力の形成のために「生活自立支援」「社会自立支援」「就労自立支援」等を行います。就労準備支援訓練事業の内容は、農福連携を目指した「農事トレーニング」、自分たちで作った無農薬野菜を使って調理体験をするのが「ふっくん亭」。利用者さんの多くが食への課題があるので、食育にも力を入れています。「薬膳料理勉強会」が始まりました。

〇梅郷自然ファーム活動（毎週火曜、金曜9時～11時に農トレ開催、体験も随時募集中です。）

農薬、化学肥料を一切使用せず、古来から伝承されてきた野菜本来の固定種を播き、一年間を通じて安全で安心して食せる美味しい作物づくりを中心とした真農業の推進活動に取り組んでいます。

【問い合わせ先】NPO 法人 Earth as Mother　住所:野田市山崎1620　電話:04－7157－1818

〇映画上映・ワークショップ

ドキュメンタリー映画の自主上映会

〇地域交流

異業種交流・地域交流の為、市内の各行事に参加させて頂いています。

のだネットでひきこもりの支援をしていた方を紹介したところ、2 年かけて一般就労に結びつきました。働き始めても時々顔を出し交流も続いています。

分野横断鉄道［教育］

教育　医療　雇用

国際　消費　住居　司法

柏自主夜間中学は毎週2回（木曜の夜と土曜の午後）義務教育程度の学習の支援を行っています。家庭の事情や不登校などで十分な教育を受けられないまま大人になった方や、親の仕事の都合で来日し日本で教育を受けている日本語を母語としない中学生など、様々な事情の生徒さんたちが学んでいます。ここでは、生徒ひとりひとりの学びたいことにそってスタッフがともに学びます。私たちは、「先生」「教える」「授業」ではなく「スタッフ」「ともに学ぶ」「学習」を使うよう心がけています。夜間中学の主人公は生徒さんであり、スタッフは伴走者にすぎないと考えるからです。

生徒さんの背景に思いをよせますと、いろいろな問題や課題に直面し，学習の支援を活動の中心としている私たちには対応できないことが多くあります。福祉や医療のサポートが必要と思われるときは，専門の機関につなげるようにしています。

柏自主夜間中学　　越山祐子

◎木曜日：午後6時～8時45分　　ラコルタ柏（教育福祉会館）4階　創作室
◎土曜日：午後2時～4時45分　　ラコルタ柏（教育福祉会館）2階　講座室
◎参加費：無料
◎問い合わせ先：090-9247-3691（越山）

司法　住居　消費　国際

雇用　医療　教育　動物

ちば・地域発　～県内ア・ラ・カルト～

『福祉のしごと就職フェアｉｎちば』

◎福祉・介護施設などが一堂に会する合同面接会を開催します。
対象：福祉・介護の仕事に関心のある方や福祉・介護施設などへの就職を希望する方
日時：令和3年11月27日(土)　13時～16時
会場：東京ベイプラザホテル3階　(木更津市新田2-2-1)
内容：福祉・介護施設などの職員との面談・相談会、各種相談コーナー
問い合わせ：千葉県社会福祉協議会　千葉県福祉人材センター　tel 043-222-1294

〈千葉県最低賃金が改正されました〉
10月1日から時間額953円に改正されました。(これまでの925円から28円引き上げ)
使用者は、この額より低い賃金で労働者を使用することはできません。
詳しくは、千葉県労働局又は最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会
事務局：すけっと（印旛圏域）佐倉市王子台4-28-12 T・第一ビル2階
TEL:043-308-6325　FAX:043-460-9045
編　集：海匝ネットワーク（海匝圏域）旭市ロ-838
TEL:0479-60-2578　FAX:0479-60-2579

『編集後記』
平成22年6月創刊の「ちばの地域福祉」が第100号を迎えることができました！
初心を忘れず、中核センター事業のより一層の充実を目指してまいります。
今後ともよろしくお願いいたします。(K)